

学びのデザイン  
見て触れて楽しく学ぶ

# 考古学ワークショップ のご案内

神奈川県埋蔵文化財センターの「考古学ワークショップ」では、次のような授業や体験学習を行っています。

学校等に出向き、出土品を活用した授業や体験学習を行います。具体的な実施方法は、担当の先生等と相談しながら進めます。また、企画展の展示解説、埋蔵文化財センターの施設見学や出土品の活用などにも対応しています。

**場 所:** 県内の学校、公民館、埋蔵文化財センター等  
**対 象:** 小・中・高校生、教員、市民サークルほか

※ 体験学習は一度にできる人数に制限がありますので、人数が多い場合はご相談ください。



## どくう ・ 土偶づくり (体験学習)

オープン粘土を使用して、縄文時代の土製の人形である土偶ひとがたを製作します。土偶は縄文時代の信仰に関係したモノと考えられています。

工作を行う前に土偶についての講義を行い、様々な形の土偶を紹介します。製作した土偶は、オーブンで焼成した後、持ち帰れます。

当時の人びとが土偶に込めた思いや、モノづくりの楽しさを学んでもらいます。

**対 象:** 小学校低学年以上ですが、大人でも楽しくできます。

**人 数:** 一度に40人程度まで可能です。

**その他:** 製作にあたって事前に粘土を準備していただきます。



【お問合せ】 神奈川県埋蔵文化財センター

〒232-0033 横浜市南区中村町3-191-1 電話 045-252-8661

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/ar3/cnt/f6656/>

神奈川県埋蔵文化財センター

検索

## ・ まが玉づくり（体験学習）

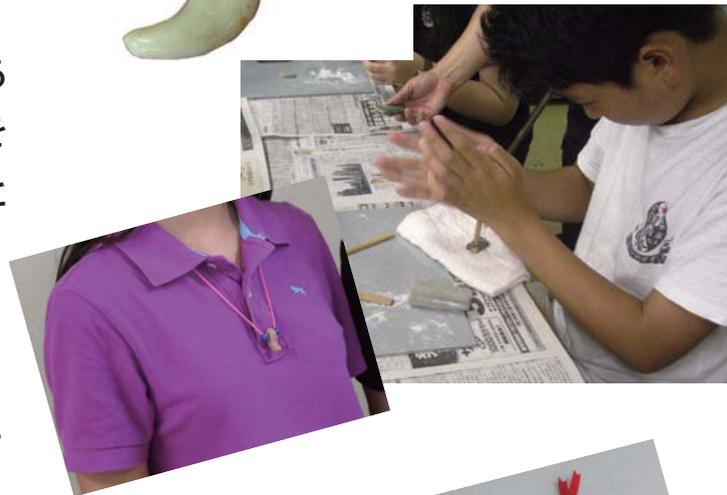
パリン石などを使い、古代と同じ手法で、まが玉を製作します。完成後は、首飾りにして持ち帰れます。

古代の人びとの装身具は、単なるオシャレだけではありません。当時のアクセサリーがどのような役割を持っていたのか、講義と体験実習を通して、「装う」ことの意味を考えてもらいます。

対象： 小学校低学年以上ですが、大人でも楽しくできます。

人数： 一度に40人程度まで可能です。

その他： 製作にあたって事前に材料を準備していただきます。



## ・ たくほん 拓本づくり（体験学習）

縄文土器には、当時の人びとが工夫をこらしたいろいろな文様がつけられています。画仙紙がせんしという紙を水で湿らせながら土器の表面に張り付け、上から墨を押し当てながら文様を浮き出させます。

土器の文様を紙に写し取った拓本は、厚紙に貼って、しおりを製作したものを、持ち帰れます。

対象： 小学校低学年以上ですが、大人でも楽しくできます。

人数： 一度に20人程度まで可能です。



## ・ 出土品を活用した授業（講義）

神奈川県内の各時代の遺跡で発掘された土器や石器などの出土品を使い、考古学から見た旧石器時代から近代までのかながわの歴史についての授業や講義を行います。

実物の土器や石器に触れたりすることもできます。



## ・ 展示解説、施設・出土品の見学

 埋蔵文化財の企画展示「かながわの遺跡」展（11～2月頃に開催予定）において展示解説を行います。

 神奈川県埋蔵文化財センターの施設や出土品などの見学ができます。

